

令和2年第3回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

| 月 日 | 通告順 | 登壇順 | 氏 名 | 頁 |
|--------------|-----|-----|---------|----|
| 9月23日 (水) | 1 | 1 | 岩本利雄議員 | 1 |
| | 2 | 2 | 湊瀬栄子議員 | 3 |
| | 3 | 3 | 清水正明議員 | 7 |
| 9月24日 (木) | 4 | 1 | 田川正毅議員 | 9 |
| | 5 | 2 | 田崎耕太議員 | 12 |
| | 6 | 3 | 平井満洋議員 | 14 |
| | 7 | 4 | 佐嘉田敏雄議員 | 15 |
| 9月25日 (金) | 8 | 1 | 宮本一昭議員 | 16 |
| | 9 | 2 | 浅田直幸議員 | 17 |
| | 10 | 3 | 戸浦善彦議員 | 19 |
| | 11 | 4 | 中里悟議員 | 21 |

1. 岩 本 利 雄 議員

質問事項 1

農業の大規模化について

質問の要旨

本市の農業は、就業人口の減少と高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加等、数多くの課題を抱えている。これらの課題を解決するための手段として、国の農業振興策の一環である農業競争力強化基盤整備事業がある。この事業では、耕作放棄地を含めた農地の集積・集約化及び大区画化により、大型機械を使用した農業の効率化と生産性向上を図る「農業の大規模化」を推進している。

本市の実施状況は、既に完成した西海町丸田地区、現在整備中が3箇所、計画・検討中が3箇所あり、実施済みのものから計画・検討中のものまで含めると全体では159.3ヘクタール以上の区画整理が予定されている。

そこで、農業の大規模化に関する次の点について、市長の見解を伺う。

- (1) 既に大規模農業を展開している西海町丸田地区について、基盤整備に関する課題と現在実施中の大規模農業に関する課題は何かを伺う。
- (2) 5年前（平成27年度）の農業所得と現在（令和元年度）の農業所得を比較した時、どのようなになっているのかを伺う。
- (3) 今後の農業振興の重要課題のひとつである担い手の育成・確保について、どのような対策を実施しているのかについて伺う。

質問事項 2

学力向上について

質問の要旨

西海市の未来を担う子供たちの学力向上は最重要課題であり、「学力向上スーパーバイザー派遣事業」をはじめ、さまざまな施策が実施されている。本市の児童生徒の学力については、全国学力・学習状況調査によって、どのような状況にあるのか概略を知り得ることができる。

そこで、学力向上に関する次の点について、教育長の見解を伺う。

- (1) 教育長の所信表明の中で、「主体的に学ぶ力の育成」を第一の課題に挙げているが、その具体的な施策について伺う。
- (2) 学力向上には、教職員の指導力、資質の向上が必須条件だと思われるが、それらを向上させるために、現在どのような取組みを実施しているのか伺う。

- (3) 全国学力・学習状況調査は今後継続実施されるが、市としての平均正答率の目標はあるのかを伺う。

質問事項 3

人事評価制度について

質問の要旨

令和元年度第4回西海市議会定例会一般質問において、人事評価制度の導入による処遇への反映について市長から答弁があり、現在も処遇への反映には至っておらず、今後、評価の公平性や公正性の確保及び評価を均一化する方策等について研究し、実施に向けた検討を進めていきたいとのことであった。

そこで、その後の進捗状況について伺う。

質問事項 4

PCR検査について

質問の要旨

新聞報道によれば、県内で新型コロナウイルス感染確認が相次いでいることを受け、県医師会、長崎大学、長崎大学病院は8月3日に共同記者会見を行い、PCR検査について、無症状でも希望すれば、地域のかかりつけ医などで受けられる体制を整備したと表明している。

そこで、本市でもこの取組みを推進するため、市内医療機関への協力を要請するとともに、市内医療機関の風評被害等のリスク軽減に向けた市民周知の徹底等の対策を講じる考えはないか伺う。

2. 湊 瀬 栄 子 議員

質問事項 1

長谷ダムの貯水池について

質問の要旨

令和2年6月25日の大雨により、大島西小学校周辺が浸水したと聞き、消防団の活動報告を確認したところ、大雨の被害に備え早朝から見回り警戒を行った際、長谷ダム（砂防ダム）の貯水池が溢れ、農村グラウンドから大島西小学校、新田団地周辺にかけて大規模に浸水し、自動車が通行不能となった場所があったことがわかった。

その後、管理者である長崎県への長谷ダムの状況を報告し、その対策などを協議したのか。また、協議していれば、その内容を伺う。

質問事項 2

老朽危険空き家について

質問の要旨

平成 30 年の住宅・土地統計調査によれば、本市における空き家は 2,600 件あり、前回調査から約 3.6%増加している。中でも、老朽危険空き家は防災、衛生、景観等、周辺地域の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。

本市においては、市民の安全・安心な住環境の確保に向け、令和 2 年 3 月に「空家等対策計画」が策定されたところであるが、次の点について伺う。

- (1) 本市の老朽危険空き家は何件あるのか。
- (2) 本市の老朽危険空き家除却支援事業の活用状況はどうなっているのか。
- (3) 市の要綱で規定している補助金の限度額 50 万円について、離島部にあっては増額改定することはできないか。
- (4) 約 7 年半前の火災によって廃屋となっている大瀬戸町福島地区にあるケースのような場合、長年放置されたままの場合、周囲の住環境に配慮した何らかの対応が出来ないか。

質問事項 3

公立公民館Wi-Fi導入事業について

質問の要旨

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校が臨時休業した場合などにおいて、自宅に通信手段が整っていない児童・生徒が、学習に必要な情報を入手して遠隔授業に参加できるよう、令和 3 年度運用開始に向け、公立公民館にWi-Fi設備を設置する事業が計画されているが、松島に住む児童・生徒は船で渡って大瀬戸コミュニティセンターまで通わなければならないことになる。

島内施設を整備箇所に加えれば、船で通う必要がなくなり、船が欠航した場合でも遠隔授業を受けることが出来ると思うが、いかがお考えか。

質問事項 4

公共施設の感染症対策について

質問の要旨

- (1) 新型コロナウイルス感染症予防のため、室内換気の対策が必要であり、西海市新しい生活様式への営業形態移行支援事業として、換気扇設置などの店舗改修に対する補助金が7月から受け付けられている。

令和2年第2回定例会における予算決算常任委員会の審査の際に、音楽教室、書道教室、そろばん教室、学習塾など、本市の社会教育施設を利用しているケースもあるため、これらの施設の換気状況について質疑したところ、調査する旨の答弁があった。

また、社会教育施設を使用している団体などから、換気のために窓を開ける際、網戸がなく虫避けが出来ずに困っているとの声が寄せられている。

本市の社会教育施設の換気対策についての調査結果とそれを受けた対応策について伺う。

- (2) 指定管理者が運営している公共施設「やすらぎ交流施設音浴博物館」、「大瀬戸社会福祉センター」、「遊湯館」などの換気対策はどのようになっているのか伺う。

質問事項5

避難所のあり方について

質問の要旨

避難所については、コロナ対策を並行したうえでの大規模災害を想定した準備が喫緊の課題となっている。そこで、避難所のあり方について以下の点を伺う。

- (1) 避難所における新型コロナウイルス感染症への対応として、避難者の収容人数を考慮した開設を見据え、避難所の指定数を増やす必要があると思うが、いかがお考えか。

- (2) 去る7月6日、本市においても大雨特別警報が発せられ、直ちに危険場所からの避難が指示される事態になり、避難所が開設された。

その中であって、雪浦地区公民館は雪浦川河口の側にあり、安全性に対して疑問の声が寄せられている。

開設されても避難者ゼロの場合もあり、見直しが必要ではないかと思うが、いかがお考えか。

- (3) 現在、西海市内に指定されている避難所は50箇所あるが、かつて指定されていた崎戸保健センターは、現在指定避難所から外されており、付近の市民からは当該保健センターを避難所として使用できないかとの声が寄せられている。建物は雨漏りが酷い状態だが、改修して、改めて避難所として指定できないか伺う。

3. 清水正明 議員

質問事項 1

西海市競争入札の落札数制限について

質問の要旨

本年5月1日から西海市競争入札の落札数制限に係る基準が見直されたが、次の点を市長に伺う。

- (1) 市内業者の受注機会の拡大と均等化及び公共工事等の品質確保を図るため、落札数制限に係る基準においては、市内業者は1日間、その他の業者は1月間の入札への参加が制限されている。

一方、西海市建設工事入札制度要綱第5条第2項では、業者選定に当たって、市内業者及び市内営業所等に常駐する市内在住の従業員数が10名以上の準市内業者を最優先すると規定されている。

上記落札数制限の基準では、この準市内業者をその他の業者として取扱うことについて、整合性が取れていないと思われるが、見解を伺う。

- (2) 6月11日に実施された電気工事の入札は、落札数制限に係る基準の見直しにより入札参加者が1者となったことから、同要綱第6条の2により入札を中止すべきではなかったのか伺う。

- (3) 同落札数制限に係る基準の見直しに当たって、入札執行時間の公表は重要な事項と考えるが、西海市入札又は見積及び契約の適正化の促進に関する規則第8条に反し、委託、購入等、不落案件の入札結果について入札時間を公表しないのはなぜか伺う。

また、同規則第8条において、工事については、執行時間が公表事項となっていないが、入札又は見積を適正に執行するため改正すべきと考えるが見解を伺う。

質問事項 2

入札及び見積制度について

質問の要旨

指名競争入札及び見積について、次の点を市長に伺う。

- (1) 西海市建設工事入札制度要綱第5条に指名競争入札に参加する者の数が規定されているが、電気工事や不落案件等で指名人数を満たさないで指名競争入札を実施している案件があるが、その理由を伺う。

- (2) 本年第2回定例会で契約締結議案として建築工事2件、解体工事1件が承認された。その後、施工監理業務委託がそれぞれ発注されているが、その中で西海市

西彼クリーンセンター解体工事施工監理業務委託は、1者による随意契約となっており、その理由を事前にお尋ねしたところ、「解体工事の設計者である」との回答であった。

他の建築工事や離島のクリーンセンター解体工事の施工監理業務委託は、指名競争入札で実施していることに鑑みると、当該解体工事施工監理業務委託の契約内容一覧表の契約相手方の選定理由は、地方自治法施行令第167条の2で規定している随意契約に該当していると言えるのか伺う。

質問事項3

地域電力事業の普及について

質問の要旨

令和元年度定期監査結果報告書によると、平成30年8月分から地域電力への切替えにより市本庁舎等の電気料金は削減され、一定の効果が上がっている旨の記載がなされている。

そこで、次の点について市長に伺う。

- (1) 同事業は、公共施設が対象とのことであったが、現在の普及状況を伺う。
- (2) 指定管理者制度を導入している公共施設については、どのように取り扱われているのか伺う。
- (3) 同事業者は、小売り電力事業のみを行い買電はしないとのことであったが、発電設備のある公共施設の場合、余剰電力はどのように処理されているのか伺う。

質問事項4

公共物の管理について

質問の要旨

長崎オランダ村駐車場横の太陽光発電設備のパネル上及び周辺の雑草等の管理について、除草シートの設置等、合理的な解決策が必要と考えるが市長の見解を伺う。

4. 田川正毅 議員

質問事項1

私有地から市道等に繁茂する樹木伐採について

質問の要旨

最近、市道及び農道に隣接する敷地などから道路上に樹木が生い茂り、通行に支

障をきたしている。

また、隣接する私有地からの樹木が自分の土地に張り出し、家屋損壊の恐れがあるとの声も多数寄せられている。

民法上、私有地から伸びる樹木はその所有者の責任において適切に管理しなければならないが、所有者の高齢化や不在、伐採等に係る高額な経費等を理由に、高所作業活動など危険が伴う樹木伐採は、手つかずの状況である。

そこで、樹木の伐採を促すため、伐採、運搬及び処分に必要な経費の補助や高所作業活動の支援など、市独自の取組みを行う考えはないか伺う。

質問事項 2

長崎県立西彼杵高等学校の存続及び独自性のある教育の実施について

質問の要旨

- (1) 県立西彼杵高校の現状（生徒数・学科）について伺う。
- (2) 県立西彼杵高校存続について、市及び市教育委員会はどのように考えているのか。また、長崎県教育委員会との協議及び働きかけについて、どのように行っているのか伺う。
- (3) 県立西彼杵高校と市立大瀬戸中学校との中高一貫教育に対する考えについて伺う。
- (4) 西海市独自の小学校・中学校の教育体制を構築することにより、他自治体からの子育て世代の移住や市内高校への留学なども可能と考える。
少子化時代に対応した西海市独自の教育の在り方について、教育長の考えを伺う。

質問事項 3

松島火力発電所の存続に向けた市の取組みについて

質問の要旨

- (1) 令和 2 年 7 月 3 日、経済産業大臣は記者会見で「非効率石炭火力発電所を 2030 年までに休廃止する」と表明した。報道によると、旧式の石炭火力は国内に 114 基あり、休廃止は 9 割相当の 100 基程度が対象となる見通しとのことである。
西海市としては、国の方針が本市に与える影響に鑑み、松島火力発電所の存続に向け、より詳細な情報収集や対策を早急に講じるべきと考えるが、市長の考えを伺う。

- (2) 松島火力発電所が本市に与える経済効果について、どのように認識しているか伺う。

質問事項 4

新型コロナウイルス感染者が確認された場合の行動指針の制定について

質問の要旨

西海市でも新型コロナウイルス感染者が確認された。

市役所はもとより、市内各団体及び市内企業などで新型コロナウイルス感染者が確認された場合の具体的な行動指針を市独自で定める必要があると考えるが、市長の考えを伺う。

5. 田 崎 耕 太 議員

質問事項 1

長崎オランダ村について

質問の要旨

- (1) 経営の実態について、現状の説明を求める。
- (2) 市長の選挙公約は、長崎オランダ村について「オープンな議論」を行うとのことであったが、市長就任から約3年半の間、その約束は履行されたとの認識か。見解を伺う。
- (3) 市長としての責任をどう果たしていくつもりか。今後の対応について、市長の方針を伺う。

質問事項 2

サンセットリゾートサキト（旧ホテル咲き都）について

質問の要旨

- (1) 市長は、平成29年9月議会で、旧ホテル咲き都の設置管理条例を廃止する際の質疑に対する答弁の中で、「ホテル経営のノウハウを有する民間企業に施設を譲渡し、経営を任せることで崎戸地区の活性化、延いては市全体の観光活性化に資する」旨の考えを述べ、その後、この施設を民間企業に譲渡して「サンセットリゾートサキト」の運営に至っているが、市長が現在の施設の運営状況を見ると、上記示された譲渡の趣旨に適うものとなっていると考えるか否か、現状認識を伺う。

- (2) サンセットリゾートサキトの経営状況が外部からはわからない中で、当初の市長の目論見と相違する部分や、これまでの市の対応に係る問題点を挙げるとすれば何か。また、それらに対して今後どのように対処する考えか伺う。

質問事項 3

市内県立高等学校の存続について

質問の要旨

- (1) 市教育委員会が所管する公立小中学校は適正配置事業(統廃合)を進めながら、他方で県教育委員会の所管する市内県立高等学校については存続すべきとの考えはダブルスタンダードではないか。
- (2) 市内公立中学校から市内県立高等学校へ進学する生徒数は、市外県立高等学校・私立高等学校へ進学するそれに比べ、圧倒的に少数である。このような状況下で、市が県立高等学校の存続に寄与できるものがあるとすればどのような方法があるのか。見解を伺う。
- (3) 県立高等学校の再編整備は県の所管であるが、市がその存続を政策課題として掲げることに責任を負えるのか。

6. 平井満洋 議員

質問事項 1

『さいかいほっと券』プレミアム 100』について

質問の要旨

令和2年7月30日発行の広報さいかい号外に、「年末年始の消費を喚起するためプレミアム率100%の『さいかいほっと券』を発行します。ただし、今回は大型店では使用できません。」と掲載されていた。そこで、次のことについて伺う。

- (1) 使用できないとされている市内の大型店とは具体的にどのような店舗を想定しているのか伺う。
- (2) 5,000円で10,000円分の商品券が購入できることになっており、令和2年7月27日の予算決算常任委員会において、全市民の購入を想定した予算が確保されていると聞いているが、経済的な理由から5,000円の支出であっても躊躇する市民もいるのではないか。西海市内の消費喚起を目的としているとは言え、全市

民がメリットを享受できない制度に公金を支出することが真に平等と言えるのか。
市長の見解を伺う。

質問事項 2

緊急応援給付金の延長と見直しについて

質問の要旨

見直し前と同様に、今回も市内の農林畜水産業を含めた全業種の皆様が対象となるのか伺う。

質問事項 3

西彼総合支所横の風車について

質問の要旨

令和 2 年度の一般会計予算において、風車塔の安全性調査業務委託料の予算が計上されていたが、調査の進捗状況について伺う。

質問事項 4

長崎オランダ村について

質問の要旨

現在、リニューアルオープンに向けて準備中となっていると認識しているが、準備を始めてからずいぶん期間が経過しているように思える。平成 28 年に 10 年間の無償貸与契約を結び、様々な事業が計画されていたはずであるが、現状は当初の計画内容からかけはなれているように思う。

オランダ村の運営に関し、市は今後どのような協力体制をとっていくのか。

7. 佐嘉田 敏 雄 議員

質問事項 1

基地周辺地域の民生安定助成事業について

質問の要旨

横瀬地区住民の悲願であり、かねてから要望している寄船地区の琴平砲台跡における公園整備について、市長に伺う。

(1) これまでの九州防衛局との調整経過等の取組み状況について伺う。

- (2) 公園化の実現に向け、どのようなスケジュールで進めているのか。
- (3) 民生安定助成事業を市長はどのように認識し、防衛施設周辺地域へ活用していく考えか。

質問事項 2

市長選について

質問の要旨

令和 3 年 4 月に執行される市長選について、市長の意向を伺う。

8. 宮 本 一 昭 議員

質問事項 1

救急搬送体制の整備について

質問の要旨

西彼町南部地域における救急搬送は、現況では小迎郷にある佐世保市東消防署西彼出張所からの出動が主になっているが、西彼杵道路を使っても救急車の到着に 20 分以上かかり、さらにそこから医療機関への搬送にも時間を要するため、事故による大ケガや心筋梗塞や脳卒中などで緊急に病院などへ搬送する必要がある場合に、命の危険にさらされることが多い。高齢化が進み救急搬送の頻度がますます増加することが想定されるため、本市における今後の救急搬送の在り方について、抜本的な対策を検討する必要があると考える。

そこで、平成 29 年第 4 回定例会の一般質問に対する答弁において、「長崎県市町消防広域化推進計画が策定されており、もし、これが実現すれば長崎北消防署琴海出張所からの緊急出動も期待できるが、いまだ具体化していない状況である。」との説明があったことを踏まえ、消防広域化の現在の進捗状況について伺う。

質問事項 2

社会体育施設の整備について

質問の要旨

西彼多目的運動公園内には、テニスコートが 2 面あるが、四隅は地盤沈下し、人工芝は破れており、安心してテニスができる状態ではない。早急な整備が必要であると考えますが、速やかに対応する考えはないか伺う。

9. 浅田直幸 議員

質問事項 1

崎戸町奥浦・横浦地区における豪雨被害について

質問の要旨

今年6月25日及び7月6日、7日の豪雨により崎戸町奥浦地区において床下浸水の被害が発生した。また、横浦地区においては床下浸水の被害はなかったが、路面がひざ下まで冠水した箇所があった。

そこで次のことについて市長に伺う。

- (1) 台風シーズンの到来により、ふたたび被害の発生が予想される中、ポンプなど排水設備の増強など被害を軽減できる対策が必要だが、市としてどのような対応を考えているか伺う。
- (2) 近年各地で豪雨や大型台風による被害が発生しており、今後もその発生が予想される中、排水機能を向上させるため、深さのある排水溝への変更や溜枳の整備など根本的な対策が必要と考えるが見解を伺う。

質問事項 2

『さいかいほっと券』プレミアム100について

質問の要旨

7月30日付「広報さいかい～号外～」で「さいかいほっと券」プレミアム100の発行が発表された。この事業について、使用期間や券種、交付方法など詳細を伺う。

質問事項 3

西海市新型コロナウイルス感染者等への人権侵害の防止策について

質問の要旨

国内において新型コロナウイルスの感染者やその家族に対し、誹謗中傷や差別的取り扱いを受ける事例が相次いでおり、その防止策として新型コロナウイルス感染症患者等の人権の保護に関する条例を制定する自治体が出てきている。本市でもそのような条例を制定するなど感染者等に対し、人権侵害の防止策を講じる考えはないか伺う。

質問事項 4

ベッコウトンボの生息について

質問の要旨

令和元年第3回9月定例会における一般質問において、ベッコウトンボの生息状況の調査について成虫が飛ぶ来年6月頃に専門家による生息状況を調査したいとの回答を得ていたが、調査を行ったのか。行ったのであればその結果を伺う。

10. 戸 浦 善 彦 議員

質問事項1

交通事故防止の取組みについて

質問の要旨

- (1) 平成26年6月13日には西海町横瀬地区にて米軍人による交通事故が発生し、これを受け米軍人運転者に対する啓発看板が西海町横瀬郷の市道ハセ溜串下線（防衛道路）に2箇所設置されたが、近年、看板の劣化により文字が見えにくくなっており、これまでも改修を要望してきたが一向に改善されていない。なぜ対応できないのか伺う。
- (2) 今年7月28日には、西海町丹納郷において米軍人が運転するバイクと市民が運転する乗用車の接触事故が発生している。日本人と同様に、米軍人に向けての交通安全意識の啓発の取組みが必要と考えるが、どのように対応していくのか伺う。

質問事項2

西海市新型コロナウイルス感染症見舞金制度について

質問の要旨

西海市は、市内に住民登録をしている新型コロナウイルス感染症の感染者に対して、10万円の見舞金を支給すると発表したとの報道が8月14日になされた。見舞金には一般会計の予備費を充てるとのことであるが、報道直後から、市民より「感染者の増につながるのではないか」、「感染者全員への見舞金ではなく市民の感染予防対策に当該予算を使うべき」など、制度に否定的な声が多く寄せられている。市民の賛同が少ないと思われる当該制度について、撤廃も含め見直す考えはないのか伺う。

質問事項3

社会教育活動の充実について

質問の要旨

人口減少と少子高齢化に伴い、地域の社会教育活動が実施される機会は減少しており、コロナ禍がさらに追い打ちをかけている状態である。地域のつながりを維持し明るい未来を次世代に残すため、社会教育活動の充実は重要であると考えている。これからの時代に応じた社会教育活動の充実について、どのように取り組んでいくのか伺う。

質問事項 4

未来の西海市の人口について

質問の要旨

平成 27 年 10 月に作成された「西海市人口ビジョン」において、2060 年に人口約 3 万人を目指すとしているが、人口減少に歯止めがかからない現状を踏まえ、現実味のある目標に見直すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

11. 中 里 悟 議員

質問事項 1

市長就任後 3 年が経過した総括と今後の課題について

質問の要旨

市長就任後 3 年が経過した今、次の事項について伺う。

- (1) 人口減少対策の現状と課題を伺う。
- (2) 基幹産業である農林水産業の振興策の現状とその成果を伺う。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策の各種支援事業の進捗状況を伺う。
- (4) 予期せぬコロナ対策などで新しい支援事業の取組み等が実施される中で、本市の財政運営への影響について伺う。

また、その影響を踏まえた基金、地方債残高を含む今後の財政見通しを伺う。